



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata
八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimata/rc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長：シェカール・メータ
Calcutta-Mahanagar RC (インド)

会長 笹川 英一 ・ 会長エレクト 竹村 信彦 ・ 副会長 小久保 和子 ・ 幹事 小久保 和子

第56巻 第9号 通巻 第2625号 2021. 11. 24発行

第2624回 2021年11月17日例会報告

【出席報告】 SAA 伊藤 武雄

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席 率%	MU	修正 出席率%
11/17	25	25	4	84		
10/27	24	22	2	91.67	0	91.67
会員総数 25名 (名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 3名) 通算出席率 92.33%						



点 鐘 会長 笹川 英一

ソング 奉仕の理想

【会長挨拶】 会長 笹川 英一

皆さんこんにちは、このところ晴天で風も穏やかで毎日がとても過ごしやすく関東周辺では紅葉の見ごろの所もたくさんありますので週末などに出かけた方も多かったように思います。私も10月10日に成田コスモロータリー幹事の荻原さんの所の空の湯空輪イベントで自転車ロングライドに参加してきました。

道の駅栗源を経由して小見川へ利根川を越えて河川敷の自転車専用走路を走り東関東自動車道の下を抜けて道の駅水の郷さわらで昼食、小野川沿いの小江戸の町並みでは川に浮かんだ船の上でにぎやかな祭囃子を奏でる地元の下座連が2組乗り込んでいて、街歩きの観光客の人だかりが出来ていました。久しぶりの集団走行は楽しめたのですが自宅からの走行距離90キロオーバーで自宅に到着した時は完全グロッキー状態でした。先週増田会員のお話で今年の落花生は例年になく出来が良いそうですが美味しいピーナツを食べて免疫力をアップして新型コロナウイルスの第6波に備えるのもいいのではないのでしょうか。ロータリーのリアルなセミナーも増えてきましたが国際ロータリーや地区よりいろいろな指示・提示の案内・資料がメールで送られてきます。先日の100年ビジョンレポートにもありましたが全国数多くのロータリークラブがその意見に多少なりとも温度差を

感じているのが実情です。ロータリー唯一の立法機関で「規定審議会」があります。3年に一度アメリカのシカゴで開催され世界中の500を超える全ての地区から、各地区1名の代表議員が参加して、提案されたさまざまな議案に対し討論を繰りかえし裁決して民主的に採択されているのです。もうそんなこと知っていたという方もいると思いますが、いま一度「あーそうなのか」と思う事がめっちゃありまして勉強不足を反省するばかりです。2019年の規定審議会では日本の地区・クラブから30件提案され世界の国の中で最も多く、日本の地区・クラブの関心は高いとのこと。その年の1月のRI理事会で「多様性・公平さ・インクルージョン」のDEI声明を採択しています。インクルージョンとは教育・福祉の領域においては「障害があっても地域で地域の資源を利用し市民が包み込んだ共同社会を目指す」という理念としてとらえられている。ダイバーシティによって多様な会員が集まり、その一人ひとりの能力を公平に受け止めインクルージョンによって積極的に参加する機会を創出し個々の能力を最大限に発揮してゆく。ひとりのロータリアンとして自分独自の形で奉仕活動を行いその地域社会で活躍してほしいと言っているのだと思います。そのような事柄を少しでも会員の皆さんに伝え実行して行けるように努力したいと思っています。今日は以上になります。ありがとうございました。

八街RC 12月例会スケジュール	
12月 1日(水)	理事役員会・通常例会
12月 8日(水)	休 会
12月 15日(水)	横浜市議梶村様、堀口G補佐
12月 22日(水)	クリスマス例会(ヒルトン成田)
12月 29日(水)	休 会

【委員会報告】 親睦委員長 鈴木 慶夫



～クリスマス例会のお知らせ～

- ・期日:2021年12月22日(水)18:00～20:00
- ・会場:ヒルトン成田
* 八街よりバス送迎あります *
- ・参加費:会員無料、家族1人3,000円
- ・ビンゴゲームで全員にプレゼントが当たります♪
- ・食事メニュー
 - * フォアグラのフラン ブリュレ風
 - * ポークのゼリー寄せ 野菜のマリネとサラダを添えて
 - * 玉蜀黍と大麦小麦のスープ
 - * 鮫鰯とマッシュルームのタルトレット
 - * 牛サーロインステーキ4種胡椒ソース
 - * 千葉県産鶏肉のクリーミーカレーライス
 - * スペシャルデザート
 - * コーヒー



日頃の感謝を込めて、奥様、お子様、お孫様のご参加お待ちしております。

【幹事報告】 幹事 小久保 和子



- ◎八街商工会議所耐震工事に伴い
駐車場確保のお知らせ
期間…2022年3月までの予定
場所…八街ほ249
(元大寺屋商店跡地)

- ◎受贈週報
・ 富里RC ・ 白井RC



-長野県でのスイカの産地づくりの思い出-

卓話の時間を頂きありがとうございます。

先週の増田会員の話の落花生の天日干しですが、あの天日干しはテレビや新聞での毎年の歳時記になっているような感じですね。今日は少し時季外れの話ですが、7月の5日ころだったと思いますが、NHKテレビで長野県の波田地区でスイカの玉売りが始まったという話題が放送されていました。この波田のスイカの玉売りのニュースは、八街で言えば、丁度増田さんの落花生の天日干しが始まったというニュースと同じで、テレビで毎年流される歳時記になっております。農産物だけではなく下関の南風泊港のフグの初水揚げ、大間のクロマグロの初荷のセリの話、北海道の夕張メロンなど、歳時記的に決まって報道されるものがあります。

先ほど話した長野県の松本市波田地区のスイカですが、実はこの波田という所のスイカ産地は、私が30歳になるころ、ここの産地づくりを手伝って、東筑摩郡波田町の松本平農協（今のJA松本ハイランド）と一緒に造った産地です。ここは長野県の松本市から松本電鉄（今のアルピコ交通）で新島々行きに乗って、終点の二つ手前の「波田」で降りたところにあります。その電車道に平行に走る道路が、そのすぐ先の奈川渡ダムの堰堤を通り、上高地や、安房峠を超えて乗鞍、高山、白川郷方面へ行く国道158号線です。

昭和のオイルショックの直後だったと思いますが、奈良県のスイカの種のメーカーから、長野県の農協がスイカの産地見学に行きたいので千葉県のスイカ畑を案内してくれないか、という話が参りました。実は長野県や群馬県の高冷地は、私の会社とは、戦後ダイコンのタネでかなり深いお付き合いが続いておりました。塩尻の洗馬周辺（今は松本空港のある周辺の桔梗が原付近）、八ヶ岳山麓の小海線

沿線の山梨県川上村、清里、野辺山高原、群馬県の嬭恋村は、昭和20～30年代はダイコンの大産地でした。その高冷地の開拓農協や漬物業者へ結構な量のダイコンのタネを納めておりました。今はいずれもレタス、キャベツの大産地です。

そんな関係もあって長野県の農家が来てくれるというので、スイカ栽培の見学を受け入れました。多分6月だったと思いますが、マイクロバスでスイカの見学に来た団体は東筑摩郡波田町の松本平農協とその組合員15人くらいだったのでしょうか。山武町木原の岩ノ谷のハウスやトンネルスイカをかなり熱心に見学して、資材の一部サンプルもマイクロバスに積んで帰りました。波田町のスイカ栽培はやっと始まったところで苗作りもあまり分かっていない様子でした。

そして半年後の冬に、今度はまた奈良の種屋を通して、長野までスイカの栽培講習会に来て欲しいという依頼が参りました。半年ほど前に見学に来た農協の指導課の平林秀夫さんという方からも直接依頼が来ましたので、長野県まで行くことにしました。波田町は梓川が松本平に流れ出るところにある広い扇状地に広がる畑作が多い所でした。塩尻周辺での付き合いが以前からありましたので、畑の環境は大体わかっておりました。

2月のまだかなり寒い時でした。中央線に乗って松本へ。それから松本電鉄で新島々方面へ。そこには松本平農協の方が迎えに来ておりました。農協会館の大会議室には波田町と隣の山形村の農家50人くらいが集まっており、約1時間スイカの苗作り（育苗）と枝（蔓）の仕立て方、交配など千葉県栽培方法についてスライドを使って一通り説明をしました。

それから松本平のスイカ栽培は味の良さから栽培面積が急拡大し、波田町のスイカは日本賞を獲得するまでになりました。この地域は標高800mくらいで、梅雨があまりはっきりしない雨の少ないところで、昼夜の寒暖の差が大きいので味の良いスイカが収穫できる産地です。7月上旬のスイカは大田市場で最も高い評価をいただいております。それから私と波田町の平林さんとの永いお付き合いが始まりました。暮れには平林さんが自ら栽培しているリンゴを毎年送ってくれましたので、こちらからも八街の落花生を送っておりました。個人的な

お付き合いは数年前に亡くなるまで長いお付き合いが続きました。上高地や乗鞍、奥飛騨温泉、岐阜の高山、白川郷、五箇山方面へ旅行に行ったりしたときには家内と二人で平林さん宅へ立ち寄り懇談してまいりました。今はご本人も亡くなり、私も飛騨、高山方面への旅行はもう行くこともないかと思います。今は懐かしい思い出になってしまいました。

【誕生月卓話】

西村 頼子会員



本日は誕生日卓話の役を頂き、大変緊張しておりますが、私の実家が皆さにお馴染みのキッコーマンに関係しますので、その歴史などを簡単にご披露いたします。

キッコーマンの本格的醤油造りの始まりは、江戸時代の初期に現在の千葉県野田市で始まりました。大消費地である江戸への物流拠点としても優れ、良質な大豆や小麦の産地、必要な塩も江戸湾から確保できるため水運が主体の当時として醤油造りの好適な場所でありました。

キッコーマンの祖となった茂木七佐衛門と高梨兵左衛門が醤油造りを始めたのは寛文年間（1660年前後）のことです。茂木家には、さらに大阪夏の陣で敗れた豊臣方の武将夫人が関東に移って醤油造りをはじめたという伝承もあるようです。

さて明治以降、野田の醤油醸造家は奮闘努力して各地の博覧会などで最高賞をとるなどの品質向上が評判を呼び生産量は全国一になりました。1917年に野田の醸造家、茂木、高梨、堀切一族8家が合同し野田醤油株式会社を設立初代

社長は第六代茂木七郎衛門が就任（私の曾祖父）当時一族の商標は200種類もありましたが 合同会社発足にあたり茂木佐平次家の家号「亀甲萬」が統一商標になり、六角形の萬の字のマークはキッコーマンブランドの象徴として受け継がれています。なお、キッコーマンは資力を生かして、地域の発展寄与し、野田人車鉄道（東武野田線）野田商誘銀行（千葉銀行）さらに病院も設立いたしました。また海外へも展開し、サンフランシスコに1957年には販売会社さらに製造会社もウィスコンシンに設立し、米国の半分近い家庭はK I K K O M A N S O Y S O U C Eとして親しまれています。

欧州はオランダ、ドイツ、アジアはシンガポール、中国、最近ではブラジルに世界最大級の工場を建設し、世界の食文化に貢献し、世界の調味料となっています。

私もキッコーマンの発展は、一族に生まれささやかですが先祖に感謝し、誇りとするところです。今年の六月には私のいところが社長に就任しました。ちいさな頃は祖父の家で一緒に遊んだのですが、世界に貢献している経済人には敬意を表します。野田市の迎賓館はもと創業者の自宅、美術館や文化財も一族の家がお役に立っております。どうぞ野田市にお越しの時は、お立ち寄りください。

最後になりましたが、西村家とは先代の故西村一はの妹良子さんが茂木家に嫁がれた御縁もあり、さらに弟さんの故西村和夫さんの奥様と私が八街西村家に嫁ぎました。

本日は拙いお話となりましたが、御清聴ありがとうございました。

